



「鬼」は実在するみたいですよ(°Д°)!!

「鬼」という文字は元々は古代中国の「鬼頭」という習慣から来ています。「鬼頭」とは死んだ人を型どった「人形の紙片」の事で「人間の霊魂」を意味します。又、「おに」の語源は「穢」で邪悪、陰険、狡猾、狡い等「人を蔑む言葉」として使われて来ました。それから「鬼」の古訓は「もの」で大物主、物忌み等あまり良い意味では使われていません。つまり「鬼」は古代中国では「死者を弔う言葉」だったものが日本に輸入され時代を重ねて「鬼=おに」とされ「人を蔑む言葉」とされたのです。

奈良時代初頭、中国より製鉄技術が導入され日本各地で製鉄が行われる事になりました。又、製鉄場所をめぐる侵略や争いも勃発しました。特に朝廷からの侵略は凄まじく岡山に残る「湯羅伝説」、「大江山の酒呑童子」の話等は「製鉄からみの話」と思っ間違いありません。製鉄現場の反抗も凄まじく、朝廷はかなりの苦戦を強いられます。それゆえに製鉄現場の者を「鬼」と呼び、蔑みかつ恐れる事となりました。ちなみに「鬼に金棒」という言葉があります。「強い者が得意な得物を持ってなお強くなる様」を表した言葉ですが、こういう言葉が出来る事自体「鬼」と「鉄」の結び付きが強い事の現れです。

「朝廷」は自らの「侵略」の事実を胡塗するために様々な施策をしています。童話「桃太郎」等はその最たるもので、それゆえに「桃太郎」では「鬼の悪事」がすっぱり抜けています。又、「酒呑童子」では「酒呑童子」が死ぬ間際「鬼に横道なきものを(鬼は何も悪い事はしていない)」と叫んだ事が記述されています。

防災豆知識

ペット用の持ち出し品と備蓄品を準備しましょう!

避 難所では、人に対する準備はされていますが、ペットに対する備えは、基本的に飼い主の責任になります。家族の分とともにペットの分も準備しましょう。また、持ち出し品には、優先順位をつけて、優先度が高いものはすぐ持ち出せるようにし、その他のものは、分かりやすい場所に保管しましょう。

▶ペット用の持ち出し品リストの例(優先順位1)

- 常備薬
- フード(5日分。療法食も含む)
- 水(5日分)
- 食器
- 予備の首輪
- 予備のリード(伸びないもの)
- ガムテープ(ケージの補修など多用途)
- プロフィールカード



▲プロフィールカードの項目例

▶ペット用の備蓄品リストの例(優先順位2)

- ケージ
- ペットシート、毛布
- タオル
- ブラシ
- おもちゃ
- 洗濯ネット(猫の場合)
- 排泄物の処理用具(使い慣れたトイレ砂)

「鬼」を形容する場合、角に虎革のパンツと言うのが一般的ですが、これは方位学で「鬼門」に当たる「艮=丑寅」から来ていると言われています。つまり「牛の角」に「虎」を合わせる事で「鬼=邪悪な存在」を意味しているわけです。ちなみに「赤鬼」「青鬼」については「赤」は「酸化鉄」や「焼けた鉄」を表し「青」は製鉄現場では欠かせなかった「水銀」を表します。

鬼の色というと、赤や青をイメージする人が多いのではないのでしょうか。しかし、実は鬼の色は他にもあるんです。鬼は大きく分けて、赤・青・黄・緑・黒の5種類が存在します。これは仏教における5つの煩惱のことを五蓋(ごがい)といい、その五蓋を鬼の色に当てはめているため。つまり、鬼の色それぞれには意味があるんです。

- **赤鬼**
赤色の鬼が表す煩惱は「貪欲」。すなわち人間の欲望を表しています。赤鬼が一番有名なのは、この欲望があらゆる邪気象徴であるためと考えられます。
- **青鬼**
青色の鬼が表す煩惱は「瞋恚(しんに)」。瞋恚とは怒りや恨み、憎しみといった人間の憎悪の感情の事を指します。
- **黄鬼**
黄色の鬼が表す煩惱は「掉挙・悪作(じょうこ・おさ)」。浮ついた心や甘え、執着など、自身の心の弱さを映し出しています。黄色の鬼は白色とも言われており、同じ意味を表しています。
- **緑鬼**
緑色の鬼が表す煩惱は「惛沈・睡眠(こんじん・すいめん)」。やるべきことをやらない、ダラダラと眠ってばかりいる、という怠けた心からくる不健康や不摂生を意味します。
- **黒鬼**
黒色の鬼が表す煩惱は「疑惑(ぎわく)」。自分や他人を疑う心や、愚痴などを指します。自身の中にある不平不満の心、卑しい気持ちを持ち出していると言えます。

季節のお手入れ【2月】

暖房している部屋の結露に注意。
溜まった水は早めに掃除します。



四文字熟語あれこれ

【温故知新(おんこちしん)】
前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を見出し自分のものとする事。古いものをたずね求めて新しい事柄を知る意から。「温」はたずね求める意。一説に、冷たいものをあたたため直し味わう意とも。「故ふるきを温たずねて新あたらしきを知る」または「故ふるきを温あたたためて新あたらしきを知る」と訓読する。



アネビーが提言する「新五感」を刺激する遊具をご紹介します!

アネビーは「新五感」という考え方を通じて、全ての子ども達へ「楽しさ」「発達」を促す遊び環境を提案しています。

私たちは、将来の学習や社会性の基盤になる大切な5つの感覚を「新五感」と呼んでいます。新五感とは触覚、聴覚、視覚に、一般的に知られていないけど大切な感覚の前庭覚と固有覚の5つを指します。新五感とは幼児期に獲得したい非認知能力の土台になり、それは日常の遊びの中で取り入れることが大切なのです。子どもの遊びは平面から立体へと発達段階に合わせて変化していきます。高いところまで登るクライミングは、不規則に配置されたグリップが手や足をどう動かすかを常に意識させ、考える力の発達につながります。挑戦心や、てっぺんについたときの達成感、子どもの大きな自信につながります。

<ラインナップ>

■クライミングウォール・フリー

利用者のレベルに合わせてグリップの高さや位置を変更できます。

■シティクライミング

セーフティゾーンによって小さな子があえて登れない設計になっているので、乳児〜学童までが混在するようなスペースでも安心です。

■ミニクライミング

高さ167cm、小さな子ども達に最適なクライミングです。おしゃれな外観と、たしかに遊び機能を両立しています。

■ミニミニクライミング

子ども達の旺盛なチャレンジ精神は、からだの大きさとは無関係です。

1歳児から挑戦できるクライミングが室内に画期的な発達環境をもたらします。

